

協力

75



伝道団体連絡協議会

〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台2-1 OCC 614号室
Tel. 03-3291-5035
www.dendankyo.com

FRONT ESSAY

「文書伝道のビジョン」

CLCは世界50ヶ国以上で文書伝道の活動をしており、日本では1951年(昭和26年)に働きが始まりました。正式名称を「クリスチャン文書伝道団」と言いますが、これは英語の「Christian Literature Crusade」を訳したものです。当初「クリスチャン文書十字軍(クルセード)」という名前にしたかったようですが、当時はまだ戦後まもなくの時点で、軍隊の名残があるような名前をGHQが嫌い、クリスチャン文書伝道団になりました。

CLCの母体はWEC(世界福音伝道団)で、日本では滋賀県を中心に伝道している団体です。CLCはWECの中の出版部という位置づけで働きが始まり、その後独立しました。

日本CLCの創設者は河井清治(船橋インマヌエル教会員)という者で、彼は自分の将来を祈っていたところ、薦田二雄先生より「今度CLCという団体が日本で文書伝道による宣教を開始するので日本人の働き人を求めている。ぜひ君やってみたまえ」と声をかけてくださり、応答しました。そしてCLCが最初に開設した事務所は丸の内にあつたインマヌエル教会の本部でした。薦田二雄先生のご厚意によってお借りしたその部屋に机とイスを一つだけ置いて日本CLCの働きは始まったのです。以後、東京のお茶の水をはじめ、札幌から熊本まで12のキリスト教書店を展開するまでになりました。

開設当初より「キリスト教書店の無い地域にも福音文書を」というスローガンのもと、店舗販売だけでなく、車による外販(訪問販売)を積極的に行ないました。今でこそ、どこのキリスト教書店でも外販をしています。じつは世界で外販を最初に始めたのは日本のCLCです。記念すべき第一号となった車は、海外のCLCから献げられたフォルクスワーゲンでした。その車はたいへん用いられ、天幕伝道やキャラバン伝道など、さまざまな方法で諸教会の開拓を応援しながらの訪問伝道でした。

さてCLCは開設60年を迎え、「いのちのことは社との宣教提携」という新しい働きが今年始まろうとしています。札幌と名古屋という2つの地区を店舗統合し、Bible shop チェーンを全国に展開することになりました。クリスチャンの少ない日本でのキリスト教書店の運営は、経済的に大変厳しく、将来も見通せない中ではありますが、神さまは必ずや文書伝道の業を前進させ、宣教の強力な武器として用いてくださることを確信しています。今後とも皆様のお祈りとお支えをよろしくお願いいたします。

「私たちが天国へ行ったとき、私たちが手渡した文書によって救われた魂に出会う、その大きな喜び、これが文書伝道のビジョンなのです」(イギリスCLC創設者の言葉)

CLC・
クリスチャン文書伝道団
代表役員

藤尾光彦

伝道団体連絡協議会 フェスティバルのご案内

日本の宣教団体の力を一つにして伝道の働きをサポートして30年。この機会を通して、伝団協の働きを知っていただくとともに更に拡大する機会となればと願っています。

- 日 時：2012年 6月16日(土) 10:00am～5:00pm
- 会 場：お茶の水クリスチャンセンター 8階ホール、チャペル
(東京都千代田区神田駿河台2-1) *入場無料 どなたでも参加できます

ステージプログラム

10:00am	開演 主催者あいさつ 姫井雅夫	2:30pm	宣教セミナー (hi.b.a.)
10:15am	パペット (ワンウェイストリート・JJ)	3:30pm	伝団協加盟団体紹介
12:00pm	新生宣教団報告	3:45pm	レインボーミュージック・コンサート
1:00pm	上原令子さんコンサート	4:50pm	閉会のあいさつ

※プログラムは一部変更になる場合があります。予めご了承ください。

◆みなみななみさんによる新刊『旅をしながら』出版記念サイン会

伝団協各団体のブース

- | | | |
|-----------------------|-------------|----------------------------|
| ①お茶の水クリスチャンセンター | ⑥総動員伝道 | ⑪ブリッジス・フォー・ピース・ジャパン |
| ②クリスチャン文書伝道団 (CLC) | ⑦太平洋放送協会 | ⑫ミクタムレコード |
| ③高校生聖書伝道協力会 (hi-b.a.) | ⑧小さないのちを守る会 | ⑬プレイズ出版 |
| ④JTJ 宣教神学校 | ⑨日本国際飢餓対策機構 | ⑭ユース・ウィズ・ア・ミッション |
| ⑤新生宣教団 | ⑩日本聖書協会 | ⑮パペットミニストーリー・ワンウェイストリート・JJ |

詳細はちらしを御覧ください。皆様のご参加をお待ちしております。

TEL: 03-3291-5035 FAX: 03-3291-5266 (伝道団体連絡協議会)

伝道団体連絡協議会 第28回総会のご報告

2012年4月27日(金)午後3時より5時まで、お茶の水クリスチャンセンター4階会議室にて総会が行われた。

第一部の礼拝では、姫井会長がメッセージを取りついで、使徒の働き16章6～10節のみことばが開かれ、「神が私たちに招いて福音を宣べ伝える」というテーマで語った。アジアのみことばを語ることを聖霊によって禁じられた(6)。出鼻をくじかれる思いがしただろう。しかしパウロは幻を見た(9)。ひとりのマケドニア人が彼の前に立って、「マケドニアに渡って来て、私たちに助けてください」と懇願するのであった。今置かれている状況の中で私たちもマケドニアの声を聞いて伝道することが私たちに与えられている使命である。さらに志をひとつにして仲間と協力し、伝団協として何ができるかを神に祈りつつ進んで行きたいと語られた。

第二部の総会では、まず出欠の確認が為された。

出席: お茶の水クリスチャンセンター、新生宣教団、総動員伝道、太平洋放送協会、日本国際飢餓対策機構、日本聖書協会、ユースウィズアミッション、プレイズ出版、ワンウェイ・ストリート (9団体)

委任状: アジアン・アクセス、いのちのことば社伝道グループ、いのちの水・計画、教会インフォメーションサービス、クリスチャン文書伝道団、高校生聖書伝道協会 (hi-b.a.)、国際ナビゲーター、こころの友伝道全国連合会、JTJ宣教神学校、全日本リバイバルミッション、ハーベスト・タイム・ミニストリーズ、パラビジョン、ビー・ジャパン、

ブリッジス・フォー・ピース・ジャパン、ミクナム・レコード、ワールド・ビジョン・ジャパン (16団体)

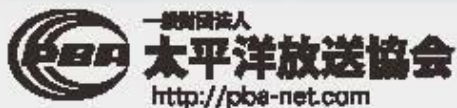
欠席：近畿福音放送伝道協力会、小さないのちを守る会、日本キリスト伝道会、光のミッション (4団体)

※欢呼により、出席団体9、委任状16、計25で、加盟29団体の三分の一以上に達し、総会の定足数を満たしていることが確認された。

議長に姫井雅夫先生、書記に加藤太郎氏が選出され、議案として、2011年度の活動報告、会計報告、会計監査報告が為され、引き続き2012年度の活動計画案、会計予算案、役員選出が為された。新しく東兄(PBA)、サマーハリス兄(YWAM)が選出された。規約の改定がなされた。7名以上の役員から5名以上に改定。日本キャンパス・クルセード(一時的)とワールド・ビジョン・ジャパンが脱会した。

加盟団体相互の協力体制づくりや加盟団体を増やして行くことも話し合われた。6月16日に行われるフェスティバルについても話し合われた。総会を経て新たな2012年度の働きがスタートした。神様の祝福が豊かにあらわされ、また新しく加盟して下さる団体が与えられて行きますようにお祈りいただきたい。(書記：加藤太郎)

● 伝団協 加盟団体の紹介!



〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台2-1 OCCビル
TEL: 03-3295-4921 FAX: 03-3233-2650



2012年度のテーマは、「教会のあすを拓く放送伝道 II」です。

今年度の主な活動

PBAは、1951年の創立以来、放送メディアを通して日本の教会にお仕えすることを目標に歩んでまいりました。

今年度も、日本の宣教の進展のために、北海道から沖縄までの29の放送伝道協会と共に、また、各地の教会の皆さまと共に、主から託された放送伝道の働きに、精一杯、取り組んでまいります。

- ◆地域の教会と協力して、ラジオ「世の光」、テレビ「ライフ・ライン」の制作・放送・フォローアップに励みます。また、「視聴者のつどい」・「支援者のつどい」の開催、教会訪問等を通し、番組のPRに努めます。
- ◆経済基盤の確立を目指し、収益事業を強化します。
- ◆引き続き、被災地に於ける放送継続のための働きに取り組みます。
- ◆PBA放送伝道同労者会(PCF)、PBA懇談会等の働きを推進します。
 - ・話し方教室中級 2012年6月2日(土)
 - ・伝道説教セミナー 開催予定
- ◆テレビ部の分室を千葉に開設し、より良い労働環境の構築を模索します。
- ◆他団体の福音番組の制作・放送に協力し、日本の宣教に貢献します。

Television



お祈り、ご支援をよろしくお願いたします。

「こころの友伝道」 全国連合会

〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町2-19-11 新宿シャロームビル207
TEL / FAX (03) 3200-5584
E-mail kokoro54@galaxy.ocn.ne.jp (会長：内村撒母耳)

[活動]

1. 福音宣教は教会に託された使命です。
2. 牧師と信徒がパートナーとなって祈りつつ伝道する。
3. 信徒が求道者のこころの友となって導く。この3つの基本によって活動を進めています。毎年夏に全国大会を(今年は59回・名古屋)開催します。また、各支部(東北/関東/中部/関西/四国/南九州/沖縄)で講習会・研修会を開いています。

[発行物]

「こころの友伝道」紙(月刊/1600部発行)、「こころの友伝道の手引き」頒布価格：200円



NEWS FLASH

伝団協 加盟団体の 近況・祈りの課題

No. 75
2012年
5月

●アジア アクセス

- 1) 復興に、日本宣教に貢献出来る様に。
- ・各地の教会ネットワーク、特に宮城宣教ネットワークの働きが祝され、多くの教会が生まれ出される様に。
- ・各地の宣教師、特に被災地での働きが祝される様に。
- 2) 指導者研修等の働きが、アジア全土に拡大し、各国での働きが祝される様に。

●いのちのこぼれ

Love Japan プロジェクト復興支援 無料トラクトが用いられています。

リビングバイブル ルカの福音書を用いた『ここにある希望』を発行しました。

また、現在三浦綾子さんの新トラクトを制作中です。渡されるトラクト一枚一枚が、被災した方の魂に届き、真の救いへと導かれますように。

●教会インフォメーションサービス

- 1、4月末に発送した今年の年次集計の返信が多く送られてくるように。
- 2、教会インフォメーションサービスの働きを用いていただけるように良い知恵が与えられるように。
- 3、経済的な基礎をしっかりと築くことができるように。

●国際ナビゲーター

仙台、宇都宮、筑波、東京、静岡、名古屋、福岡の各地で大学生の春のリクルートの季節を迎えています。日本の若い魂が救いへ導かれ、主が働き人を起こしてくださるようお祈りいただけたら感謝です。

●「こころの友伝道」全国連合会

- ・「こころの友伝道全国大会in名古屋」(2012年8月27日～29日)に多くの教会から参加して下さいように祈ってください。
 - ・「こころの友伝道の働き」を教会で取り入れて、教会形成のために活用して下さいように祈ってください。
- (「こころの友伝道」月刊紙を購読して下さいと、内容が分ります)

●新生宣教団

東日本大震災のための心の支えとして「ホープフォーリビングプロジェクト」が継続されています。被災地の皆様の声を聞きながら、今必要な文書を制作しお届けさせていただきます。本当の平安と希望をみことばから与えられますようにお祈りください。

そして全世界で迫害下にある地域の兄弟姉妹へ、1冊でも多くの聖書を届けることができますようにお祈りください。

●全日本リバイバルミッション

・全日本リバイバルミッションが今年計画している「アジア・環太平洋ミッション」のためにお祈り下さい。

ベトナム・リバイバルミッション 2012年11月16日～22日

台湾リバイバルミッション 2012年9月19日～27日(予定)
・東日本大震災被災地にある各教会にて行われる「伝道会」のために。
※(チラシ・謝礼・交通費・宿泊等すべてを全日本リバイバルミッションが負担します。)

●総動員伝道

- ・毎月持たれている千葉県の牧師懇談会(いのちの泉会)のため。
5月15日 14:00 蕨教会にて
- ・「うりずんの風」映画化 7月13～14日 新劇OCC 8階チャペル
- ・秋田県トラクト配布伝道 8月13～18日 秋田市と大仙市
- ・Walk with Jesus 9月3～7日、24～28日 彦根市鳥居本～高山市

●太平洋放送協会(PBA)

全国23局で放送中のラジオ「世の光」、13局で放送中のテレビ「ライフ・ライン」が用いられ、教会につながる人が起されますように。6月は各地で、「世の光のつどい」「ライフ・ラインのつどい」等、集会が多く開かれます。多くの方々が集い、祝された集まりとなりますように。また、ラジオ・テレビでメッセージを語っている牧師たちが、集会でご奉仕します。牧師たちの上にも、主の守りがありますように。また、6月から、スタッフによる東京・神奈川の教会訪問が始まります。PBAは教会のサポートを頂きつつ放送伝道を継続して参りました。さらに良いご理解をいただく機会となりますようお祈りください。

●ハーベスト・タイム・ミニストリーズ

- ・次世代リーダー育成のため、全国各地で聖書塾を開講しています(現在は名古屋、秋には東京と沖縄で開講)。ぜひお祈りください。
- ・インターネットを使ったメディア宣教が豊かな実を結ぶようお祈りください。

●日本聖書協会

新しい日本語聖書の翻訳が進む中、内外の著名な研究者を講師としてお招きし、国際聖書フォーラム2012 聖書を購読するというテーマで聖書翻訳に関するセミナーをホテルニューオータニ(7月5日～6日)で開催します。この集会が祝されますように。また、聖書の新翻訳事業が祝されますように。

●B. F. P. Japan

イスラエルと日本の働きに使命を持つ人材が与えられるように。

●パラビジョン

1983年創立より、本年度で29期となります。クリスチャン企業としての証しとなるため、健全な経営を保つことができますようお祈りください。

2012年度 伝団協役員紹介

4月27日(金) 伝団協総会にて選出され、承認されました。

会 長	： 姫井 雅夫 (総動員伝道)
会 計	： 中野 寛 (クリスチャン文書伝道団)
研 修	： 田村 治郎 (日本国際危機対策機構)
書 記	： 加藤 太郎 (日本聖書協会)
機 関 紙	： 東 裕之 (太平洋放送協会)
役 員	： J・サマーハリス (ユース・ウィズ・ア・ミッション)

「協力」75号

発行日: 2012年5月25日
発行所: 伝道団体連絡協議会 郵便番号101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1 OCCビル 614号室
TEL.03-3291-5035 FAX.03-3291-5266 www.dendankyo.com info@dendankyo.com
発行者: 姫井雅夫
印刷: 新生宣教団 (500部)